

2021年1月12日

<報道関係各位>

株式会社ジェーシービー
株式会社なうデータ研究所

JCB、ルールエンジン「NaU DSP」を導入

～「ルールエンジン」による判断を伴う業務の自動化を推進～

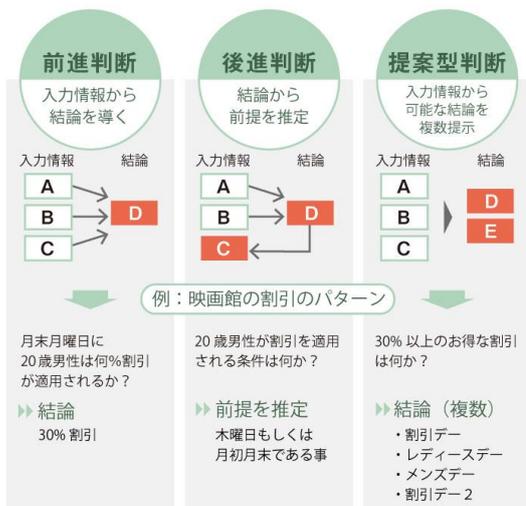
株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：浜川 一郎、以下：JCB）は、業務効率化への取り組みを強化するために、株式会社なうデータ研究所（本社：福岡県飯塚市、代表取締役：津留崎 剛）が提供するルールエンジン「NaU DSP」を導入しました。

◆「NaU DSP」について

「NaU DSP」は、業務知識を「ルールベース」として蓄積することで、高度な意思決定の自動化を実現するシステムです。人が持つ知識をシステムに組み込むことで高度な3つの推論機能を活かした「知識の運用と活用」が可能となるとともに、業務知識を「表形式（エクセル）」で定義できるため、メンテナンスが容易で業務変更や法令改正などの内外環境変化に即座に対応することが可能となります。

1 高度な3つの推論機能

一般的な「前進判断」に加え、「後進判断」「提案型判断」の高度な判断にもとづく推論機能を提供。



2 業務知識を表形式で取り込み可能

NaU DSPのコンテンツ機能により、業務知識を表形式で取り込むことが可能！ディビジョンテーブルを使用しないので、新しい業務知識の追加や更新などメンテナンスが容易です。

例：映画館の割引テーブル

名称	割引率	性別	年齢	適用期間
割引デー	30%	—	—	月初
レディースデー	30%	女性	—	水曜日
メンズデー	30%	男性	—	木曜日
シニア割引	20%	—	65歳以上	—
ジュニア割引	20%	—	15歳以下	—
割引デー2	30%	—	—	月末



業務知識をそのまま取り込むことが可能！

ディビジョンテーブルで設定する必要なし！

世界にひとつ。あなたにひとつ。

◆「NaU DSP」導入の目的

JCB では、近年「RPA」による定型業務の自動化を推進してまいりました。

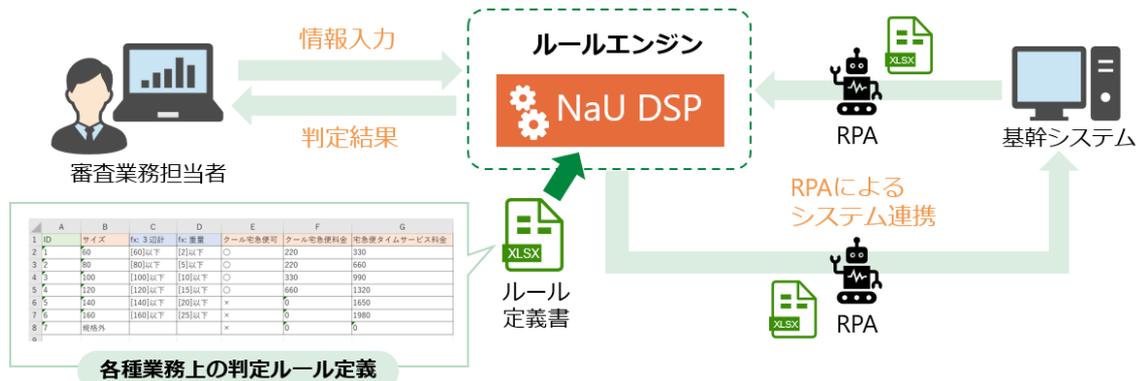
新型コロナウイルスの影響をふまえ、「ヒトを中心とした業務態勢」から、「ヒトの移動が制限されることを前提にした業務態勢」への転換を従来以上に加速して推進しております。

今回、「NaU DSP」を導入することで、従来、業務の自動化ができなかった、判断を伴う業務の自動化が可能となりました。

また、既に導入している AI-OCR や RPA など、新しい「デジタル・ソリューション」と組み合わせ、更なる自動化範囲の拡大や人的接点の低減を推進してまいります。

JCB は新たな技術を積極的に活用し、社内業務の効率化・生産性の向上を目指すとともに、新たなペイメントサービスや顧客体験の創出に向け、一層のサービス開発に取り組めます。

【JCB におけるルールエンジン適用（イメージ）】



期待効果

- ①判断の自動化処理を高速開発
- ②原理原則による業務ルールの単純化
- ③業務マニュアル改善
- ④人に依存しない業務プロセスの実現

【株式会社ジェーシービーについて】

日本発唯一の国際カードブランドを運営する企業として、1961年に設立し、JCBカードを利用できる加盟店ネットワークを展開するとともに、アジアを中心に国内外のパートナー企業とJCBカードの発行を拡大しています。

【株式会社なうデータ研究所】

九州工業大学との産学連携により生まれたルールエンジン「NaU DSP」を通じて、様々なビジネスシーンの意思決定における高度な判断を支援し、お客様の業務効率向上・知的生産性向上に貢献することで、新しいAI社会の実現を目指しています。

以上

< 報道関係者からの問い合わせ先 >
株式会社ジェーシービー 広報部 広報グループ 高田
MAIL: jcb-pr@jcb.co.jp TEL: 03-5778-8353